

2026年10月8日

各 位

会 社 名 株式会社デジタルベリー
(コード番号 645A TOKYO PRO Market)
代表者名 代表取締役社長 赤羽根 康男
問合せ先 取締役管理部長 谷本 浩子
T E L 048-753-9255
U R L <https://www.d-berry.jp/>

TOKYO PRO Market 上場目的の開示のお知らせ

当社は、東京証券取引所 TOKYO PRO Market への上場にあたり、以下のとおり、TOKYO PRO Market 上場の目的並びに上場目的の実現に向けた追加情報をお知らせいたします。

記

1. TOKYO PRO Market への上場目的

当社は顧客企業へのクロスメディアマーケティング支援を通じて、「お客様」「社員」「業界」「地域」「雇用・納税」の5つへの貢献を果たし続けることを経営理念としております。

特に、「製造業の情報発信支援」に特化した「製造業ドットコム」サービスの認知拡大を図ることで、製造業の「製品・技術の強み」を広く社会に発信し、製造業の発展に貢献したいと考えております。

同時に、埼玉県企業として、県内の企業・大学・官公庁・金融機関などと広く連携し、地域の発展に貢献したいと考えております。

当社は TOKYO PRO Market への上場により、以下の目的の実現を目指してまいります。

(1) 社会的信用力向上、認知拡大による顧客創出

TOKYO PRO Market 上場により、顧客や取引先、株主、金融機関、支援機関、社員やその家族、採用応募者などあらゆるステークホルダーからの信頼性、信用力の向上につなげていきたいと考えております。また、上場企業としての認知度向上を通じて、埼玉県をはじめ全国における当社サービスの事業拡大を図り、より多くの製造業企業の顧客創出を目指してまいります。

(2) 優秀な人材確保、幹部育成

当社では、顧客事業の理解と経営層への的確な提案が必要であるため、優秀な人材を確保し育成することが重要となっております。上場企業としての信頼性を武器に、他社比較された際の競争力を高めると同時に、より多くの人に認知されることで人材確保につなげていきたいと考えております。

また、質の高いサービスを安定して提供できるよう、人材育成に優れた幹部人材を増やしていくことが重要であると考えております。高いガバナンス体制に基づいた組織力の構築により、幹部人材が継続的に育つ組織を構築し、持続的な企業成長を支える経営基盤を強化してまいります。

(3) 内部管理体制及びコーポレート・ガバナンス体制の強化

当社は、事業の継続的な成長と、顧客への高品質なサービス提供を実現するため、内部管理体制とコーポレート・ガバナンスの一層の強化を重要課題とし取り組んでおります。上場により、これらの体制を継続的に維持・向上できるよう活用したいと考えております。適時開示体制の整備、リスク管理体制の強化、内部統制の継続的な改善など、透明性と信頼性の高い経営体制を構築しコーポレート・ガバナンス体制を一層整備してまいります。

(4) 一般市場への上場

当社は TOKYO PRO Market 上場を通過点と位置付けており、中長期的には東証スタンダード市場への上場を目指しております。TOKYO PRO Market 市場において、内部管理体制の高度化、安定的な業績拡大、組織基盤の強化を進めることで、より高い成長ステージへの移行を目指してまいります。そして、クロスメディアマーケティング事業を通じて、より多くの顧客企業の発展に尽力してまいります。

【免責事項】

本資料に記載された内容およびスケジュールは、現時点での予定に基づくものであり、当社の今後の事業展開又は業績について確約するものではないことをあらかじめご了承ください。

以上